

◆ふくしま“ユニバーサルデザイン”メールマガジン第110号をお届けします◇  
□◆

ふくしま“ユニバーサルデザイン”メールマガジン

第110号／2017年6月29日  
《発行者／福島県生活環境部男女共生課》

◆□◆

「目次」

◆お知らせ

- ・「ふくしまミュージック花火」においてUDへの取組が実施されました！
- ・国土交通省ハザードマップポータルサイトが改良されました！

◆◇◆お知らせ◆◇◆

「ふくしまミュージック花火」においてUDへの取組が実施されました！

平成29年6月3日（土）にあづま球場で開催された「ふくしまミュージック花火2017」において、近畿日本ツーリスト株式会社の運営により、UDへの取組が行われました。なお、近畿日本ツーリスト株式会社のグループ会社であるクラブツーリズム株式会社には、昨年度三春町で実施した県事業「観光地のUDワークショップ」及び「UD観光ガイド in 三春町」の作成にご協力いただいています。

#### (1) 「J I N R I K I」の活用

「J I N R I K I」とは、人が車椅子の車輪の前方を少し持ち上げて引くことで、不整地での車椅子のスムーズな移動を可能にする、けん引式車椅子補助装置のことです。

この「J I N R I K I」を活用し、足腰に不安を抱える高齢者等へ向けた、駐車場から会場間（約500m）におけるUD対応輸送体験が実施されました。

杖を使用されている方でグループのスピードについていけない方、途中であきらめようとしている方などにスタッフが声をかけ、30名ほどの、高齢で足腰に不安を抱えている方々が「J I N R I K I」を体験し、スムーズに会場へ移動することができました。

イベントや観光地において、ハード面での整備に多額の予算がかけられなくても、少しの工夫や配慮と、運営に関わる方々の「心のユニバーサルデザイン」により、多くの方が楽しめるイベントや観光地へと進化させることができます。

#### (2) 遠隔L I V Eトラベル事業

遠く離れた飯舘村の特別養護老人ホーム「いいたてホーム」では、花火の様子が生中継されました。入所者の方々はゴーグル型の装置を付け、バーチャルリアリティー（VR）映像を見ることで、会場にいなくてもその場にいるような臨場感を体

験することができました。より幅広い状況の人々がイベントや観光地を楽しめる、新たな旅のかたちが生まれています。

国土交通省ハザードマップポータルサイトが改良されました！

国土交通省は6月、「逃げ遅れゼロ」のための取組として、ハザードマップポータルサイトの改良を発表しました。これまでは文字情報から知りたい情報を探す形式でしたが、今回の改良により、トップページに洪水・土砂災害・津波を表す3つの大きなピクトグラム（何らかの意味を表す図や記号）が表示されるようになりました。ピクトグラムを使用することで、情報の理解がしやすくなり、見たい災害リスクをより素早く確認できるようになりました。

情報をよりわかりやすく理解できるように、情報を伝える際にはUDの視点をもって考えてみてください。



《担当より》

一般の花火大会では、車椅子だと人混みの中で埋もれてしまい、花火をよく見ることができないこともあります。近畿日本ツーリスト株式会社の担当者の方からは、今回の「ふくしまミュージック花火」では、車椅子以外の方々は球場の席で、車椅子利用者はグラウンド内で観賞することで、車椅子のままでゆったりと観賞できるかたちでした、との御連絡をいただきました。

工夫をすることで楽しみやすい・使いやすい状況に変化させることができます。自分がやりにくいと感じたことがあったら、一旦工夫を全力で考えてみましょう！

=====

★発行

福島県生活環境部男女共生課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16

電話024-521-7188 / FAX024-521-7887

電子メール danjo@pref.fukushima.lg.jp

ウェブサイト <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005c/>

当メールマガジンでは、固有名詞を除いて、ユニバーサルデザインを「UD」と表記しています。

ご意見やご感想、また、UDに関するイベント情報など、どうぞお気軽にお寄せください。

=====